

財団法人

横浜学術教育振興財団

YOKOHAMA ACADEMIC FOUNDATION



財団法人横浜学術教育振興財団理事長
野並 豊

当横浜学術教育振興財団は、平成9年4月発足以来、早や5年を経過しました。

此の間、学術並びに教育の振興は経済、産業、福祉、科学等あらゆる分野の発展を促すと共に、新しい時代の価値と文化を創造し、国際化、情報化の社会的ニーズに答えてゆくものであるとの理念に立って、当財団はその具体的活動を展開してまいりました。

即ち、研究者並びに研究学生の研究活動に対する助成、優れた研究論文に対する刊行費の助成、更には研究の為に海外渡航費及び海外留学に対する助成を行うと共に、生涯教育の一環として市民を対象とした学術シンポジウムを開催してまいりました。

これらの活動により、夫々の部門に於ける成果を挙げると共に、一般の理解も深まり、年々助成の希望者が増加しつつあります。今後ともこれらの要請に答え、より大きな成果を实らせるべく努力してまいりますので、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



横浜国立大学長
小川 恵一

横浜学術教育振興財団は、平成9年に設立されて以来、地域の学術振興を掲げ、研究教育環境の整備に向け支援活動を展開してきました。

ところで、私たちは不透明な時代を迎え戸惑いを覚える毎日です。

とまれ、こういう時代であればこそ学術研究、教育を着実に進め、足もとからこの不透明感を力強く払いのけなければなりません。

地域の研究、教育活動に対する当財団の支援がかつてなく求められている所以です。

当財団の活発な支援活動を大いに期待しています。

概要・事業内容

名 称：財団法人横浜学術教育振興財団

設立の目的：当財団は、研究者や研究学生への援助・国際的な教育交流・生涯学習の推進などについて、大学等と連携しながら、必要な支援や事業を行い、横浜市をはじめとする神奈川県に於ける学術・教育の振興を図ることを目的として設立されました。

設立の経緯：平成元年6月 横浜市立大学創立60周年記念事業後援会において記念事業の一環として学術教育振興財団の設置を提言

平成9年3月31日 神奈川県教育委員会より設立許可

基本財産：3億2,800万円

所在地：横浜市金沢区瀬戸22番2号 横浜市立大学内

事業内容：助成事業 ◆研究費の助成 優れた研究活動に対する研究費の助成
◆刊行費の助成 優れた研究論文に対する刊行費の助成
◆渡航費の助成 海外派遣に対する渡航費の助成
◆留学費の助成 学生の海外留学に対する渡航・滞在費の助成

学術シンポジウムの実施

◆生涯学習の一環として、市民を対象とした学術シンポジウムの実施

その他の事業

研究助成事業

〈順不同・敬称略〉〈所属・役職名は助成交付決定時による〉

◆平成9年度

内山 英穂	横浜市立大学理学部助手	アフリカツメガエルの初期発生において中胚葉分化の初期段階に關与する新規T-box含有転写因子を単離・解析する
村田 興	横浜市立大学医学部附属病院助手	アデノウイルスベクターを用いたインターロイキン13レセプター α 鎖遺伝子の癌細胞への導入とIL-13-トキシンによる癌遺伝子治療の試み
中条 祐介	横浜市立大学商学部助教授	報告利益管理と会計政策決定のメカニズム
山下 耕治	横浜市立大学経済学研究科博士課程	社会資本ストックの生産性における定量的効果
松本 安生	神奈川大学専任講師	市民参加型政策検討において公共心が果す役割と自己強化的影響
木村 千博	横浜国立大学工学研究科博士課程	共同住宅に付随した公開空地の在り方
古川 信也	横浜市立大学医学部助手	ドーパはグルタミン酸遊離-神経細胞死の上流因子か

◆平成10年度

山本 裕子	横浜国立大学国際開発研究科博士課程	保険会社の経営危機時の保険契約者保護の方策
石川 義弘	横浜市立大学医学部講師	ベータカテコラミン受容体シグナルにおけるカベオリンの役割
セルゲイ プラギンスキー	横浜市立大学商学部助教授	ロシア極東地域における経済開発及び安全保障情勢と日露間の協力の可能性
クワン ハクジュン	横浜市立大学国際文化研究科修士課程	日・韓高度経済成長期におけるの両国民意識変容の比較研究～政治意識を中心に～
チョウ セイ	横浜市立大学経営学研究科博士課程	技術・市場と組織～コンティンジェンシー理論の再構築に向けて～
三浦 敬	横浜市立大学商学部助教授	我が国における連結ディスクロージャーの課題
梶原 康宏	横浜市立大学理学部助手	ガラクトース誘導体を有する糖タンパク質糖鎖の酵素合成とその構造解析
上田 敦久	横浜市立大学医学部常勤特別職	クロマチン修飾に依存するMSP発現調節機構

◆平成11年度

中野 誠	横浜市立大学商学部助教授	企業年金問題に対する日本企業の対応と情報開示
小山 幸代	横浜市立大学看護短期大学部助教授	痴呆性高齢者グループのケア効果に関する研究
谷地 弘安	横浜国立大学経営学部助教授	海外事業管理体制の日欧比較研究
本多 尚	横浜市立大学理学部助手	NH ₄ NO ₂ の分子運動と柔粘性に関する研究
忻 克勤	横浜市立大学医学部助手	組換えアデノ随伴ウイルス (rAAV) を用いてエイズワクチンの開発
山田 人志	横浜市立大学医学部浦舟病院講師	マウス抹消神経髄鞘形成メカニズムにおける検討

◆平成12年度

和佐 清孝	横浜市立大学総合理学研究科教授	薄膜材料に関する基礎的研究
武内 亮	横浜市立大学理学部助教授	環境調和型合成反応によるアリルアミンの合成
仁科 行雄	横浜市立大学理学部助教授	表面プラズモン共鳴 (SPR) を用いての環境ホルモン分析系の開発
今野 紀雄	横浜国立大学工学部助教授	非吸収的な無限粒子系の相転移現象の解析
山崎 徹	神奈川大学工学部助教授	FEMを援用したSEAによる振動騒音予測
中島 淳	横浜市立大学医学部講師	DHEAの大腸癌発癌予防効果の検討
松崎 道男	横浜市立大学附属市民総合医療センター助教授	輸血過誤予防システムの開発
安藤 孝敏	横浜国立大学教育人間科学部助教授	学校教育におけるエイジング教育のあり方と世代間交流プログラム
中条 祐介	横浜市立大学商学部助教授	会計政策論/ディスクロージャー論
藤村 是清	神奈川大学外国語学部非常勤講師	華南各港への満州大豆粕の移入

◆平成13年度

南 知恵子	横浜市立大学商学部助教授	B to Bマーケティングにおけるリレーションシップ戦略の実際
板井 広明	横浜市立大学経済学研究科博士課程	ベンサム功利主義とマイノリティー問題
鞠 重鎬	横浜市立大学商学部助教授	地方化とグローバリゼーションに相応しい自治体財政のあり方
白井 義昭	横浜市立大学国際文化学部教授	18C・19C英国女性作家研究
アルカツワ グリナ	横浜国立大学教育人間科学部研究員	日本とロシアの近代思想の比較研究—丸山真男のロシア語翻訳
足立 典隆	横浜市立大学木原生物学研究所助手	動物細胞の変異株を用いた非相同組換え機構の解析
萩原 央記	横浜市立大学総合理学研究科博士課程	白血球タンパク質のPADによる脱イミノ化とその役割
木下 充代	横浜市立大学総合理学研究科特別研究員	アゲハの色覚と色受容細胞分布様式の関係
孔 昌一	横浜国立大学環境情報研究院助手	超臨界流体中における分子量の大きい物質の拡散機構の解明
稲垣 景子	横浜国立大学環境情報研究院助手	都市における浸水対策に関する研究
堀田 千絵	横浜市立大学医学部医学研究科博士課程	樹状細胞におけるMHCクラスI分子を介する外来性抗原の提示機構の解析
衣斐 督和	横浜市立大学医学部助手	DOPA受容体の探索および機能解析
馬場 理也	横浜市立大学医学研究科博士課程	VHL遺伝子導入による接触阻害形成時の遺伝子発現プロファイリングとそれに基づくVHLタンパク質の機能解析
倉橋 清泰	横浜市立大学医学部助手	敗血症性ショックの病態生理の解明と治療法の確立
伊藤 英基	横浜市立大学医学部非常勤特別診療医	ニコチン受容体作動薬の末梢性鎮痛作用及び抗炎症作用についての検討
三浦 敬	横浜市立大学商学部助教授	会計情報の質的改善とその効果

出版刊行助成事業

〈順不同・敬称略〉〈所属・役職名は助成交付決定時による〉

◆平成9年度

南 知恵子 横浜市立大学商学部助教授 『ギフト・マーケティング』 千倉書房

◆平成10年度

該当なし

◆平成11年度

潘 阿憲 横浜市立大学商学部助教授 『会社持分支配権濫用の法理』 信山社
柿崎 一郎 横浜市立大学国際文化学部講師 『タイ経済と鉄道』 日本経済評論社

◆平成12年度

秋元 馨 横浜国立大学工学部助手 『現代建築のコンテクスチュアリズム入門』 彰国社

◆平成13年度

唐 亮 横浜市立大学国際文化学部助教授 『変貌する中国政治』 東京大学出版会
垂水 千恵 横浜国立大学留学生センター教授 『呂赫若研究』 風間書房

海外派遣助成事業

〈順不同・敬称略〉〈所属・役職名は助成交付決定時による〉

◆平成9年度

坂野 裕昭 横浜市立大学医学部附属病院助手 アメリカ(整形外科学会)
村田 興 横浜市立大学医学部附属病院助手 アメリカ(血液学会)
越川 直彦 横浜市立大学木原生物学研究所特別研究員 アメリカ(アメリカ癌学会主催国際会議)
窪田 徹 横浜市立大学医学研究科博士課程 オーストラリア(Queensland liver transplant service)

◆平成10年度

蟻川謙太郎 横浜市立大学理学部助教授 アメリカ(第5回国際神経行動学会)
石川 文也 横浜市立大学商学部助教授 フランス(第11回国際コロキウム)
野坂 和則 横浜市立大学理学部助教授 イギリス(第3回ヨーロッパスポーツ科学会議)
菅野 洋 横浜市立大学医学部講師 アメリカ(カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部)
西海 孝夫 防衛大学校指定講師 イギリス(タンペレ国際会議)
紙谷 義孝 横浜市立大学医学研究科博士課程 アメリカ(アメリカ麻酔学会)
オツキ・ジョン・タクヤ 横浜国立大学工学研究科博士課程 アメリカ(IEEE System Man&Cybernetics98)
中井 俊樹 横浜市立大学医学部IR研究センター助手 オランダ(第6回アルツハイマー病及び関連疾患に関する国際会議)
栗原 靖之 横浜国立大学工学部助手 アメリカ(Gordon Research Conference)

◆平成11年度

鈴木 晃弘 横浜市立大学総合理学研究科修士課程 イギリス(IUGGバーミンガム大会)
鈴木 伸一 横浜市立大学医学部浦舟病院助手 オーストラリア(ISW99万国外科学会)
松田 秀樹 横浜市立大学医学部浦舟病院助手 アメリカ(国際動脈化学シンポジウム)
中条 祐介 横浜市立大学商学部助教授 アメリカ(アメリカ会計学会)
クォン ハクジュン 横浜市立大学国際文化研究科修士課程 韓国(韓国語文学会)
大重 賢治 横浜市立大学医学研究科博士課程 イタリア(国際免疫学会)
鹿島 勇治 横浜市立大学医学部助手 イタリア(有機ハロゲン環境汚染物質に関する国際会議)
佐々木幸生 横浜市立大学医学部助手 アメリカ(国際線虫会議)
中村美奈子 神奈川大学経営学部講師 ハンガリー(Danube Folklore Conference)

◆平成12年度

石川 文也 横浜市立大学商学部助教授 フランス(国際コロキウム)
相 龍太 横浜市立大学総合理学研究科修士課程 アメリカ(国際光学技術会議)
伊藤 裕亮 横浜市立大学総合理学研究科修士課程 アメリカ(国際光学技術会議)
片平 政人 横浜国立大学工学部助教授 イタリア(生体系のNMR国際会議)
柿崎 一郎 横浜市立大学国際文化学部講師 タイ(交通政策史調査)
菅野 洋 横浜市立大学医学部講師 アメリカ(国際フォン・ヒッペル・リンドー病シンポジウム)
全 貞ユン 横浜国立大学工学研究科助手 オランダ(Sustainable Building国際会議)
長澤 倫康 神奈川大学理学部助手 韓国([COSMO2000] 国際会議)
張 家正 横浜市立大学医学部講師 アメリカ(メイヨクリニック脳神経外科)
百海 正一 神奈川大学経済学部助教授 アメリカ(ケースメソッド教育セミナー)

ベ ジュン ヨン	横浜市立大学経営学研究科修士課程	韓国 (経営学会)
イ キョン ホ	横浜市立大学経営学研究科博士課程	韓国 (国際経営学会)
チョン セン チョル	横浜市立大学国際文化研究科博士課程	韓国 (経営学会)
石原 修一	横浜国立大学教育人間科学研究科修士課程	ベトナム・タイ (マングローブ林再生に関する国際協同研究)

◆平成13年度

久保田利恵子	横浜市立大学商学部	タイ (シティネット2001バンコク大会)
木村 有里	横浜市立大学経営学研究科博士課程	タイ (タイ人のもつ労働観調査)
佐藤 響子	横浜市立大学商学部助教授	韓国 (言語学国際会議)
野坂 和則	横浜市立大学総合理学研究科助教授	ドイツ (第6回ヨーロッパスポーツ科学会議)
根岸 良太	横浜市立大学総合理学研究科博士課程	ポーランド (第20回表面科学ヨーロッパ国際会議)
武田 淳	横浜国立大学工学研究院助教授	ドイツ (第10回半導体国際会議)
吉田 賢二	神奈川大学工学部助手	ドイツ (第27回宇宙線国際会議)
柿沼 克良	神奈川大学工学部助手	オーストラリア (固体イオニクス国際会議)
西村 潤一	横浜市立大学医学部助手	アメリカ (82nd Scientific Assembly and Annual Meeting)
永瀬 肇	横浜市立大学医学部講師	タイ (第12回世界消化器病学会議)
鄭 盛 允	横浜市立大学国際文化研究科修士課程	モンゴル (モンゴル企画2001)
尹 銓 佑	横浜市立大学国際文化研究科修士課程	モンゴル (モンゴル企画2001)
金 漢 燮	横浜市立大学国際文化研究科修士課程	韓国 (政治世界学術大会)
許 彰 宰	横浜市立大学国際文化研究科修士課程	韓国 (政治世界学術大会)
李 貞 淑	横浜市立大学国際文化研究科修士課程	韓国 (日本語文学会)
孔 美 澣	横浜市立大学経営学研究科修士課程	韓国 (経営学夏季統合学術大会)

学生留学助成事業

〈順不同・敬称略〉

◆平成10年度

- カルフォルニア大学
～サンディエゴ校夏期講座～ 村山彰子・河曲唯志・前田菊代・大雲紀子・原田恵美・苜原隆之・森英里・村山さつき・三ヶ尻美穂・アリトミグレディ・倉沢真澄・堀知子
- 上海短期留学 内本修生・藤井敬子・黒岩俊介・斎藤美里・大崎亜紀子
- ウィーン大学交換留学 小林裕美・松野靖・中村直央

◆平成11年度

- カルフォルニア大学
～サンディエゴ校夏期講座～ 吉本道子・奥山大輔・藤本景子・高田純子・青海咲子・田中隆久・光定嘉代・渡辺朋子・宮坂敦・村越亮太・歐玉嬋・蔣清慧
- 上海短期留学 倉地純子・西村伸宏・和田雄規・森山絹子・柳下麻希
- ウィーン大学交換留学 鈴木早苗・安田恭子・宮前ユミ

◆平成12年度

- カルフォルニア大学
～サンディエゴ校夏期講座～ 井上みずき・Chew Wuen・佐伯舞・鈴木由希子・広瀬綾子・伊中愛貴・鈴木香峰理・大石愛・立林由紀・上手真紀・林華・小川英之
- 上海短期留学 矢野めぐみ・松井達雄・太田瑞穂
- ウィーン大学交換留学 清水香魚子・佐藤光浩・藤原靖子

◆平成13年度

- カルフォルニア大学
～サンディエゴ校夏期講座～ 神戸英里・澤田知美・中村俊浩・佐藤絵美・後藤温・輪湖紗織・森美陽子・島崎悠子・中山美穂
- 上海短期留学 福島幸子・進藤玲子・池永絵梨・下ノ関亜紀
- 上海語学研修 小清水千絵・山田建明・関根佑美子・川口正剛・小澤遊祐・鴻野志帆・江上あずみ・草野いづみ・丸山三生子・田中友也・長田真由子・村上亜希子・上田那津子・小泉幸子・永田佳織・清田夏樹・水落優子・木野戸沙希・藤井麻希・熊谷研
- ウィーン大学交換留学 久保田智子・安藤明子・浅井佳子

学術シンポジウムの実施

◆平成9年度

〈横浜学術教育振興財団設立記念シンポジウム〉 横浜市立大学・横浜市海外交流協会と共催

日 時 平成9年10月16日(木) 会 場 横浜市立大学シーガルセンター
テ ー マ 世界の食糧危機を考える
基調講演 アモス・ナマンガ・ンゴンギ (国連世界食糧計画事務局次長)
参 加 者 約400名

◆平成10年度

〈横浜学術教育振興財団学術シンポジウム〉 開催

日 時 平成10年10月31日(土) 会 場 横浜市教育文化ホール
テ ー マ 21世紀-変わるアジアと日中関係-
基調講演 田畑光永 (神奈川大学教授)
参 加 者 約300名

〈世界食糧デー記念シンポジウム〉 横浜市立大学・横浜市海外交流協会と共催

日 時 平成10年10月18日(日) 会 場 横浜シンポジア
テ ー マ 何が起きているのか-アジアの食糧と環境-
参 加 者 約150名

〈第15回よこはま21世紀フォーラム〉 横浜市立大学主催、横浜市立大学経済研究所と共催

日 時 平成11年1月21日(木)・22日(金) 会 場 パシフィコ横浜国際会議センター・横浜シンポジア
テ ー マ 高齢者の働く場作り・生きがいづくり
参 加 者 延べ約800名

◆平成11年度

〈国際ワークショップ横浜'99市民プログラム〉 横浜市立大学環境ホルモン共同研究プロジェクトと共催

日 時 平成11年12月14日(火) 会 場 はまぎんホール ヴィアマーレ
テ ー マ 環境ホルモン最新事情と展望
参 加 者 約500名

〈第16回よこはま21世紀フォーラム〉 横浜市立大学主催、横浜市立大学総合理学研究所と共催

日 時 平成11年11月10日(木) 会 場 はまぎんホール ヴィアマーレ
テ ー マ 21世紀の心のケアと脳科学
参 加 者 約500名

◆平成12年度

〈第17回よこはま21世紀フォーラム〉 横浜市立大学主催、横浜市立大学商学部と共催

日 時 平成12年10月21日(土)・22日(日) 会 場 横浜シンポジア
テ ー マ ヨーロッパ統合と日本
参 加 者 延べ約300名

◆平成13年度

〈沿岸大都市国際シンポジウム〉 横浜市・横浜市立大学・沿岸大都市国際シンポジウム実行委員会と共催

日 時 平成13年12月15日(土)・16日(日) 会 場 開港記念会館
テ ー マ 沿岸大都市の危機管理と21世紀的發展ビジョン
参 加 者 延べ約300名

〈湾岸の水質管理と環境ホルモン研究会〉 横浜市立大学・東京湾統合沿岸域管理研究準備委員会と共催

日 時 平成13年12月22日(土) 会 場 横浜市立大学よこはまアーバンカレッジ
テ ー マ 東京湾統合沿岸域管理研究
参 加 者 約150名

〈第18回よこはま21世紀フォーラム〉 横浜市立大学主催、横浜市立大学医学部と共催

日 時 平成13年11月28日(木)・29日(木) 会 場 はまぎんホール ヴィアマーレ
テ ー マ 新世紀の遺伝子医療
参 加 者 延べ約800名

その他の出版刊行物

平成11年度	『トップマネジメント講座』	発行部数	前期400部	後期400部
平成12年度	『トップマネジメント講座』	発行部数	300部	
	『内分泌かく乱物質の生体影響に関する国際ワークショップ横浜'99』	発行部数	1,000部	
平成13年度	『沿岸大都市国際シンポジウム報告書』	発行部数	300部	

◆理事

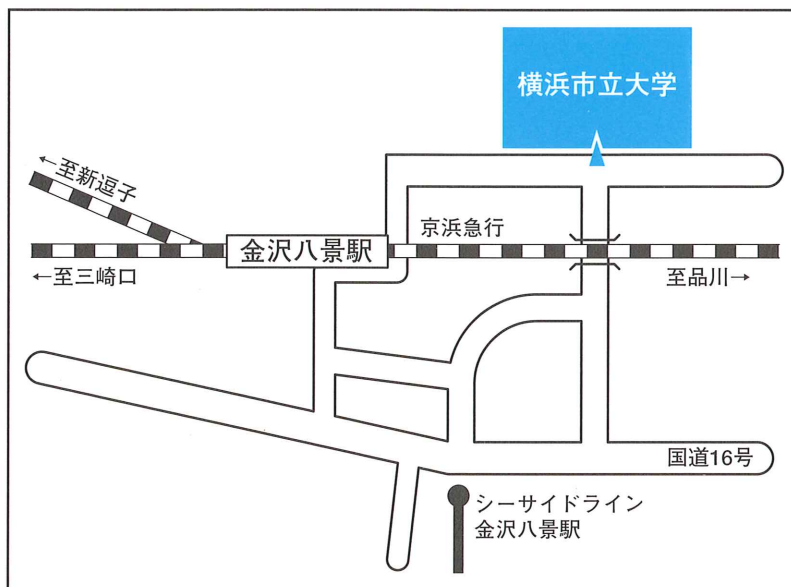
理事長	野並 豊	(株)崎陽軒代表取締役会長
常務理事	金子 文夫	横浜市立大学国際文化学部長
理事	井出 研	神奈川県予防医学協会中央診療部長
	伊藤 雅俊	(財)伊藤謝恩育英財団理事長
	梅田 誠	横浜市立中央図書館長
	小川 恵一	横浜市立大学長
	加藤 祐三	横浜市立大学名誉教授
	齋藤 史郎	横浜商工会議所専務理事
	高岡 幸彦	横浜市立大学後援会長
	高杉 暹	横浜市教育委員会委員長
	馬場 彰	(株)オンワード樫山代表取締役会長
	水木 初彦	(株)神奈川新聞社代表取締役社長
監事	宇南山英夫	横浜市立大学名誉教授
	島田 茂	横浜市立大学商学部教授

◆評議員

	板垣 浩	横浜国立大学長
	岩間 博和	(社)進交会副理事長
	江川 正人	横浜市立大学看護短期大学部長
	太田 和彦	横浜市教育長
	大野 功一	関東学院大学長
	奥田 研爾	横浜市立大学医学部長
	川内 克忠	横浜市立大学商学部長
	榊原 徹	横浜市立大学総合理学研究科長
	桜井 邦朋	神奈川大学工学部教授
	篠崎 孝子	(株)有隣堂代表取締役会長
	陳岡 啓子	神奈川県企画部長
	高井 祿郎	横浜市立大学事務局長
	野田 幹雄	(株)浜銀総合研究所理事長
	馬來 国弼	横浜市立大学理学部長

選考委員

	江川 正人	横浜市立大学看護短期大学部長
	奥田 研爾	横浜市立大学医学部長
	川内 克忠	横浜市立大学商学部長
	榊原 徹	横浜市立大学総合理学研究科長
	笹井 均	横浜国立大学大学院国際社会科学研究科長
	佐藤 孝昭	(財)国際熱帯文化学術振興財団理事長
	西久保忠臣	神奈川大学工学部長
	布施 勉	横浜市立大学国際文化学部教授
	馬來 国弼	横浜市立大学理学部長
	松井 和則	関東学院大学工学部長
	間宮 靖宏	神奈川県内広域水道企業団代表監査委員



財団法人 横浜学術教育振興財団

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22番2号
横浜市立大学内

T E L : 045 (787) 2396

F A X : 045 (787) 2397

E-mail : yokogaku@hamakko.or.jp